



好学愛知  
自律敬愛  
質実剛健

# 鶴鳥言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

## 展けゆく 歴史をおもふ

学校長 月野 功

本校中庭の樗の樹に淡い紫色の花が咲き、校内が静かな香りに包まれる季節となりました。  
四月十九日に生徒の皆さんと共に創立百二十五周年記念式典を挙げてきたことを嬉しく思います。当日は皆さんを含めて約千四百人の方々で式典に参加してくださいました。また当日の夜に開催された記念祝賀会では同窓生の方々、皆さんの式典や講演会における真剣な態度を褒めてもらっていました。

さて皆さんにとって学校の創立を記念することは、どのような意義があるのでしょうか。それは、しばし歩みを止めて、本校の先輩方が何を考え、如何に生きてきたかに思いを馳せ、これから進むべき自分の道を模索することにあるのではないのでしょうか。自分は何のために、何を学ぼうとしているのか。あなた方一人一人が深く考えてほしいと思います。

皆さんがこれから生きていく時代は、IoTであらゆるモノをインターネットで繋ぎ、集積した膨大なデータを人工知能で解析し、家電製品やロボット、自動走行システムなどを通じて人間にフィードバックする。これにより、これまでになく新たな価値が生まれ、人間の活動範囲が広がり、少子高齢化や過疎化、貧富の格差などの課題が克服される可能性があると言われています。一方で、グローバル化した現代の社会は、一つの出来事が国境を越えて広範囲に及ぶ複雑に伝播し、世界各国の政治や経済に影響するなど、一國のみでは問題が解決できない、そして将来を正確に予測することがますます難しい社会となっています。

こうした複雑で予測困難な社会であるからこそ、これからの時代を生きていく皆さんには、変化を前向きに受け止め、社会や人生、そして日々の生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたたり、複雑化・多様化した現代社会の課題に対して、その解決につながる新しい

い価値観や行動を生み出したりするなど、我々大人には思いもつかないような新しい未来の姿をデザインし、実現してもらいたいと思います。

そのためには、皆さんにはこの鶴丸のかけらである For Others の精神を心に刻み込んでほしいと願っています。あなた方一人一人がこの期待に真摯な姿勢で応えていくことが、さらに洗練された鶴丸の校風を生み、これからの時代の鶴丸の姿を形づくっていくのです。

式典会場の鹿児島市民文化ホールに一中、一高女、鶴丸の校歌が高らかに響き渡りました。



## 「好学愛知」

一学年主任 田淵 竜征

第七十三回生の皆さん、入学おめでとう。鶴丸高校創立百二十五周年、また平成から令和という節目の年に入学し、これからの高校生活に対する希望を胸に日々過ごしていると思う。

ところで、皆さんは正門から学校に入るとき、左手にある石碑の文字が目に入っているのではないだろうか。それは、本校の建学の理念の一つである『好学愛知』の文字である。多くの生徒達が門のところを礼をするが、『好学愛知』の石碑が見える位置で一礼する姿に鶴丸らしさを感じて。

さて、本校は全国でも名の知れた進学校であり、他県の進学校からも注目される学校である。難関と言われる大学でも、多くの先輩方が進学している。では、鶴丸生としての3年間、受験のための勉強に終わってしまうことが「好学愛知」なのだろうか。確かに大学に合格することも大事なことで深いと思うが、この「好学愛知」はもっと深い次元の言葉である。

何のために学ぶのか。生物学者の福岡伸一氏は、学びの本質について次のように述べている。

『あるとき若い読者から「どうして勉強しなければいけないのですか」という質問を受けました。いくら三角関数や微分・積分を勉強しても、日常生活には役に立たないじゃないですかというわけです。しかし実は、そこに学ぶということの一番大事な側面があると思うのです。たしかに私たちは数学や理科を学ばなくても生きていけます。ただ、学ばずに生きていくと視覚や聴覚などの五感だけに頼りに世界を見ることになり、それは実は、世界をゆがめて見ていることになるのです。私たちは視覚だけを見るときに、見たいものを見るだけでなく、しかもいろいろいる方法で処理しているわけです。(中略)』

自分が持っている五感だけで世界を見るのは、小さなツボの中に入っている、その壁に開けた5つの穴から見ているようなものです。世界は本当に絶え間なく動いていて豊かなものなので、学ぶことによつていろいろな見方を獲得しなければ、私たちは世界を豊かなものとして見る事ができないのです。それが学ぶことの本質だと思っています。(「JFN編 学問ノススメ」徳間書店)

鶴丸高校に入学した皆さんには、これからの3年間、学びの本質という軸がぶれないように過ごしてもらいたい。鶴丸高校での学習内容は幅が広く、各教科担も研究熱心な先生方ばかりなので、皆さんが望みさえすれば色々なことを学び成長できるはずである。好き嫌いをせず、何でも面白がって学ぶような器の大きい人間に育ってほしい。



## 甲鶴戦 優勝旗を手に

四月十六日、第四十九回甲南・鶴丸スポーツ交歓会(通称 甲鶴戦)が県立鴨池運動公園で開催された。今年のキャッチフレーズは、33Rの山城琴音さんが作成した「SPARKLE(スパークル)〜瞳に宿せ勝利の一閃〜」であった。

今回も、各会場で熱戦が繰り広げられ、大いに盛り上がる大会となった。結果は、八年振りに総合優勝を勝ち取り、創立百二十五周年に花を添えることができた。

## 5月の行事予定

5月		金	休
1	天皇の即位の日	○	×
2	国民の休日	○	×
3	憲法記念日	○	×
4	みどりの日	○	×
5	こどもの日 3年学研模試	○	×
6	振替休日 3年学研模試	○	×
7	火	○	○
8	水	○	○
9	木	○	○
10	金	○	○
11	土	○	×
12	日	○	×
13	月	○	×
14	火	○	×
15	水	○	○
16	木	○	○
17	金	○	○
18	土	○	×
19	日	○	×
20	月	○	○
21	火	○	○
22	水	○	○
23	木	○	○
24	金	○	○
25	土	○	×
26	日	○	×
27	月	○	○
28	火	○	○
29	水	○	○
30	木	○	○
31	金	○	○

教員相互授業参観期間

教育実習



8年ぶりの総合優勝！歓喜に沸く競技場



伊集院球場で開催された野球は見事に勝利



絶好のスポーツ日和 応援団のエールも高らかに



甲鶴戦優勝旗と賜杯